

貸借対照表

第82期 2019年 3月31日 現在

日本海コンクリート工業株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	1,641,115	流動負債	276,345
現金および預金	70,535	支払手形	23,181
受取手形	201,290	買掛金	185,170
売掛金	281,979	未払金	3,289
商 品	6,702	未払費用	51,257
製 品	175,105	未払法人税等	2,195
原 材 料	37,822	前 受 金	463
貯 蔵 品	13,336	預 り 金	4,054
仕 掛 品	518	そ の 他	6,732
短期貸付金	834,013	固定負債	139,024
そ の 他	19,810	退職給付引当金	127,474
		役員退任慰労引当金	11,550
固定資産	579,293		
有形固定資産	455,918	負債合計	415,369
建 物	204,933	【純資産の部】	
構 築 物	27,135	株主資本	1,807,870
機 械 装 置	153,037	資 本 金	150,000
車 両	367	利 益 剰 余 金	1,657,870
工 具 器 具 備 品	20,927	利 益 準 備 金	6,600
土 地	49,517	その他利益剰余金	1,651,270
無形固定資産	95	別 途 積 立 金	300,000
電 話 加 入 権	95	繰越利益剰余金	1,351,270
投資その他の資産	123,279	評価・換算差額等	△2,831
投資有価証券	51,905	その他有価証券評価差額金	△2,831
繰延税金資産	57,219		
そ の 他	24,291	純資産合計	1,805,038
貸倒引当金	△10,136	負債・純資産合計	2,220,408
資産合計	2,220,408		

個別注記表

2018年 4月 1日から
2019年 3月31日まで

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

(イ) その他有価証券

◇時価のあるもの・・・ 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

◇時価のないもの・・・ 移動平均法による原価法

(ロ) たな卸資産は、移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法によっている。

ただし、平成10年4月1日以後取得の建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以後取得の建物附属設備及び構築物については定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

(イ) 貸倒引当金 …………… 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(ロ) 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末自己都合要支給額の100%を計上している。

(ハ) 役員退任慰労引当金・・・ 役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上している。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …… 税抜方式によっている。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示している。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 300,000 株

3. その他の注記

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。